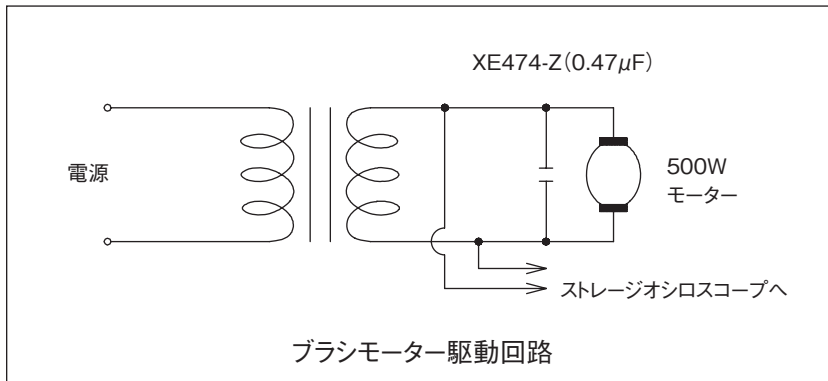




## ノイズ対策効果例

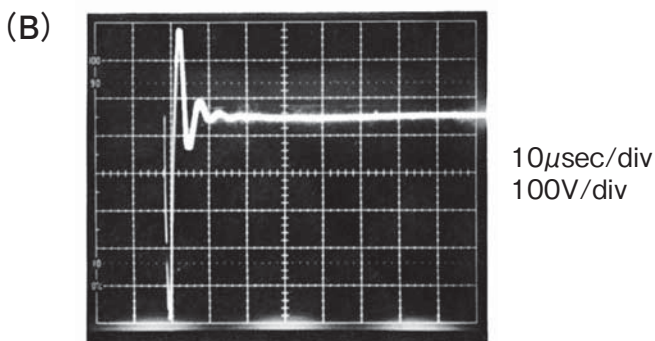
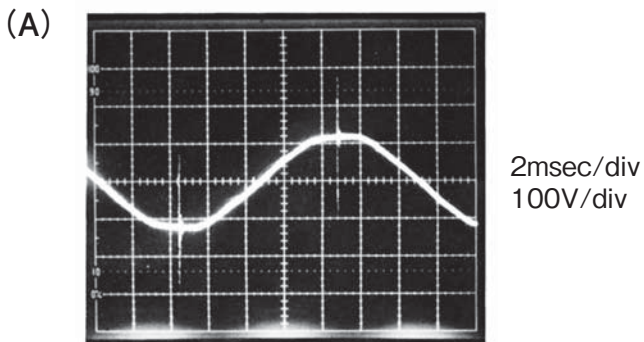


(図-2)

ブラシモーター駆動回路(図-2)は、商用電源100Vラインに絶縁トランスを介して500Wのブラシモーターを駆動し、ノイズサプレッションキャパシタを用いてノイズ対策を実施した場合の測定回路を示します。

## ノイズ対策効果例(1)

- (A)はノイズ対策をしていない状態のライン波形を示します。正負のピーク瞬時に約800Vp-pの減衰振動波形が乗っています。
- (B)はこのノイズ部分のみを観測しています。(時間軸は10 $\mu$ sec/div)



## ノイズ対策効果例(2)

- (C)はライン間にXE474-Z(0.47 $\mu$ F)のノイズサプレッションキャパシタを入れて、ノイズ対策を行った波形を示します。サインカーブ上にきわめて微少のノイズが残っているように見えますが、問題になるレベルではありません。
- (D)は(B)と同様に時間軸が10 $\mu$ sec/divとなっており、0.47 $\mu$ Fが入ることにより減衰振動の周期が長くなっていますが、ピーク電圧はきれいに減衰し良好な結果を示しています。

